

読賣新聞

2009年(平成21年)

1月17日(土曜日)

首都直下地震想定 拠点施設で初訓練

首都直下地震を想定した政府の图上訓練が16日、昨年完成した東京・有明にある国の基幹的広域防災拠点施設で初めて行われた。

訓練は、被害が最も大きくなると見られている、東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が冬の午後6時に発生したと

想定。各省庁と8都県市の関係者約210人がオペレーションルームに集まり、次々に寄せられる被災地情報を担当省庁の職員に振り分けたり、けが人を運び込む病院の調整を行ったりした。

この施設は、首都圏で震度6強を超える大地震が実際に発生した際に現地対策本部が設置され、首相官邸と共に政府が対応に当たることになる。電力を3日間供給できる自家発電装置を備え、自衛隊や災害ボランティアがベースキャンプを設置する広場もある。